

国際ロータリー第2770地区

THE ROTARY CLUB OF KOSHIGAYA MID-TOWN

Weekly Report

例会日 毎週火曜日 12:30~1:30
 例会場 山下工務店 大袋 GL2階
 事務局 〒343-0034 越谷市大竹686-3
 TEL 048-971-5320
 FAX 048-971-5370
 創立 平成2年5月22日

会長 仲文成

幹事 山崎晶弘

広報委員長 菊地貴光



ここの中を見つめよう 博愛を広げるために

第1049回 例会会報

- ・例会月日 平成24年5月15日(火)
- ・点鐘時間 12時30分
- ・例会場名 山下工務店 大袋 GL2階
- ・齊唱RCソング 「奉仕の理想」
- ・司会者名 太田洋寿 SAA
- ・発行月日 平成24年5月22日(火)
- ・来訪者名 久川雅大様(NPO 法人セイラビリティ越谷)

次月・次週インフォメーション

- 5/15 通常例会
- /22 感謝状贈呈式
- /29 通常例会

会長挨拶

仲文成会長



本日は6月30日から開催されます「水辺のまち絵コンテスト」について、NPO法人セイラビリティ越谷の代表を務めておられます久川様からお話を頂戴します。この事業への協力につきましては、すでに当クラブ理事会で承認をいただいております。

挨拶の前に増強活動の報告を致します。過日、山下増強部門長と共に候補者としてあげた5人の方を訪ねました。

(大相模で彫刻の仕事をしている方、以前に何度か訪問をしたお二方、平方に工場を持っている方、土木関係の会社を経営している方)引き続き皆様のご協力をお願いします。

本日は『友』に掲載の「R I 戦略計画」に触れてみたいと思います。(前略) R I 戦略計画についてご紹介しますと、本質は「地域の人々の生活を改善したいという情熱を社会に役立つ活動に注いでいる、献身的な人々の世界的ネットワーク」となっています。また、使命は「私たちは他者に奉仕し、高潔性を推進し、事業と専門職務および地域社会のリーダーの間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進する」とされています。それらを実践するための「優先項目」には、「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「公共イメージと認知度の向上」の3つが挙げられています。

さて、「ロータリアンがロータリーの中において何を優先させ、どのような行動を取るのか」の指針として、「中核的価値観」が定められていますが、これは先輩会員だけではなく入ったばかりの新会員に至るまで、ロータリアン一人ひとりが認識をして実践するべきものです。「奉仕」「親睦」「多様性」「高潔性」「リーダーシップ」の5つが挙げられています。以下に紹介しますと、

奉仕 ロータリーの奉仕活動とプログラムは、さらなる世界理解と平和をもたらすものであると私たちは信じている。奉仕は私たちの使命の主要な要素である。私たちは個々の

クラブの計画と行動を通じて奉仕する者に無類の喜びを与え、組織全体に奉仕の文化を創造しているのである。

親睦 個人による奉仕活動は個々のニーズに焦点を当てるものであるが、協力して行う奉仕活動は人類に奉仕するものであると私たちは信じている。力を合わせて活動すれば、その力は無限となり、多くのリソース(資源)をもたらし、私たちの人生を豊かにし、視野を広げるものとなる。親睦は民族や国家といったさまざまな違いを超えて、寛容の精神へと導くものである。

多様性 ロータリーは奉仕の理想の下にすべての人々を国際的に結束させると私たちは信じている。私たちは会員組織において、また活動や奉仕において職業の多様性を信じている。事業や専門職務の社会を反映させているクラブが、将来の繁栄の鍵を握るクラブである。

高潔性 私たちは活動の結果について、また目標達成の過程においても、私たちのリーダーや同僚会員が説明責任を果たすことを約束し、期待している。私たちは仕事においても人間関係においても、倫理と職業の観点から、常に高い基準を固く守っている。私たちは公平さと尊敬の念を保ちながら人々と付き合い、また、私たちに託されたリソース(資源)を良心的に管理する。

リーダーシップ 私たちは、それぞれの活動分野におけるリーダーから成る世界的な集まりである。私たちは指導力を伸展させることの重要性、および会員の優れた資質としてのリーダーシップを信じている。ロータリアンである私たちは、これらの中核となる価値観を率先して実行していくリーダーである。と、あります。

ロータリアンが例会や奉仕活動を通じて、また職業や日常の生活を通じて、何を考えどのように行動すればいいのか、その指針の一つが戦略計画なのです。

我々もこういったロータリーの指針を今一度認識し、頑張っていこうではありませんか。

幹事報告

小池和義副幹事

1. 地区より「東日本大震災復興支援活動の記録資料提供のお願い」がきています。
- 要 領: 復興支援活動写真1枚、撮影月日、撮影場所
 締 切: 6月11日(月)

2. 地区より「2770 地区青少年交換プログラム 2013-14 年度交換留学生募集の案内」がきています。
説明会日時：6月 30 日（土） pm3:00~4:30
場 所：クイーンズ伊勢丹 3 階
カルタスホール第 2 会議室
3. 地区より 2011~12 年度地区大会の記録が送付されています。
4. 例会変更のお知らせ
 - ・越谷東 R C
5/17 (木) 例会→18 日 (金) 創立 25 周年例会
 - ・越谷南 R C
5/31 (木) 例会→同日 夜間例会
 - 6/28 (木) 例会→29 日 (金) 夜間例会 浅草

委員会報告

- 社会奉仕委員会 菊地貴光委員長
- ・第 9 回越谷市清掃美化運動実施<ゴミゼロ>
日 時：5 月 27 日（日） am8:30 開始
場 所：大袋駅周辺
＊雨天連絡は当日 7 時までに決定の上連絡
 - ・第 38 回越谷市民まつり（10/21 実施）
例年通りレンジャーショーが開催できるようイベント会社に連絡をして手配を進めていただいているところです。
- スマイル報告 坪井 明社会奉仕委員
- ・雨の中ご出席ありがとうございます。また久川様、ようこそお越しくださいました。 仲 文成
 - ・お客様ようこそ。5/27 のゴミゼロ、よろしくお願い致します。 菊地貴光
 - ・久川様、本日は雨の中よくいらっしゃいました。ウォータースポーツを通じての地域貢献、素晴らしい活動を応援したいです。今日はありがとうございます。 佐々岡 修
 - ・お客様ようこそ。 山下良雄
- 森 紀二、太田洋寿、小池和義、坪井 明 小計 8,000 円
- 出席報告 坪井 明社会奉仕委員
- | 会員数 | 出免除 | 出席数 | 欠席数 | MU | 出席率 |
|------|-----|-----|-----|-----|-------|
| 16 名 | 1 名 | 8 名 | | 2 名 | 66.7% |

卓 話

久川雅大様(NPO 法人セイラビリティ越谷・代表)



NPO 法人セイラビリティ越谷の代表を務めております久川です。本日は貴重な時間をいただきましてありがとうございます。また、この度は私の事業にご支援をいただけるということで感謝しております。越谷に住んで 35~36 年になりますが、もともとボイスカウトで子供たちにカヌーを教える関係で水辺の活動を続けてきました。レイクタウンができるに当たって「水と緑の懇談会」があり、一市民としてチャレンジしてから 2 年が経ちます。懇談会は地権者、埼玉県、越谷市、NPO 法人の方々で発足しました。私としては一般市民の話を聞いて街づくりをしようという構図で、2 年の間にいろいろな提案を

させていただきながらやってきました。実際にレイクタウンがオープンするに当たっては、「越谷レイクタウン故郷プロジェクト」という組織を立ち上げ、人としてゆったりと責任を持っていこうということを考えて組織立てをしましたが、ちょうどその時にイオンさんからお話をいただきました。イオンさんのバックヤードにある事務所をお借りして会議などを行っていますが、ここで 2 年間の代表を努めた後、今は副代表という形で参加しております。工事現場(レイクタウン)の工事が 26 年の 3 月に終了するということですので、それまでに水辺の活動の普及と、皆さんに楽しんでいただける構図を作りたいという思いで関わってきました。

私のやってきたことを簡単に説明させていただきますと、パナマウントチャレンジという全国組織で障害者がカヌーをする団体に所属しています。「第 3 回彩の国人に優しい街づくり賞」では埼玉県都市整備部建設指導課から、市民団体のパネル展に越谷もアピールしてみてはどうかというお誘いがあり、県で写真を作っていました。地元越谷では市民活動をつなげる会に所属し、福祉協議会と組んで年に 1 回の大きなイベントを行う他、友人が提案してくれた灯籠流を越谷で実施しています。もちろん灯籠回収は責任を持って行っています。

また昨年、一昨年は越谷のリサイクルプラザからワークショップの依頼があり、ペットボトルでカヌーを作る講座を設けましたが、これはテレビで放映されています。その他にも環境学習をしながらの体験学習や、水辺のまちづくり館でワークショップの取材などもしています。古い話になりますが、



日本とエジプトの文化交流 50 周年事業のとき、私が越谷に持ってきました。あの時はエジプト大使館から招待を受けました。日曜日は江ノ島でレースがありましたが、障害者が健常者と共にレースに参加できることが何よりと思っています。私はイギリスで発祥した小さなバスタブのようなヨットを扱っておりますが、障害者をはじめ幼児から高齢者まで誰でも乘れます。オーストラリアから広まって世界各国にあるヨットで、水辺のユニバーサルデザインとして受賞しました。ヨットというと豊かな環境にいる人だけの乗り物と思われがちですが、T シャツと短パンでできますので皆さんに楽しんでもらいたいと思っています。そして、これをレイクタウンの中で始めてきているわけです。

今回皆さんにご協力をいただきます「水辺のまち絵コンテスト」は、小学生に絵を描いてもらいレイクタウンに来て親しんでもらうという考え方でおこしたもので、もともとは 7 月の海の日を中心に行っていたイベントの中の一部です。6 月 30 日に県で川再生の事業が予定され、知事がレイクタウンに来られます。その他にも 7 月 14・15・16 日にイベントがあって、最終日の表彰式にこちらの会長さんから「越谷中ロータリークラブ賞」として子供たちに賞品をお渡しいただきたいと考えております。ご協力いただきました中の 1 万円はその賞品代に充て、残りは 7 月の越谷レイクタウンフェスティバルで使わせていただきます。ありがとうございました。